

■登壇者略歴■

【パトリック・ジョンソン PhRMA 在日執行委員会 (JBEC) 委員長】

1966 年生まれ。1990 年 Lund 大学(スウェーデン)経営学修士号取得後、イーライリリー・スウェーデン入社。2005 年イーライリリー・スカンジナビア (スウェーデン・ノルウェー・デンマーク)社長、2008 年イーライリリー・イタリア社長、2012 年イタリアを含む中央・南東ヨーロッパ区域を統括するイーライリリー・イタリアハブ社長。2014 年より日本イーライリリー代表取締役社長。2015 年 8 月に女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる企業の男性リーダーによる「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」(内閣府主導)の「行動宣言」に賛同を表明。2016 年より米国研究製薬工業協会(PhRMA)在日執行委員会委員長を兼務。

【エイドリアン・タウズ 英国医療経済研究所 (OHE) 名誉理事/上席研究員】

英国に拠点を置き、医療技術評価、医療システムの効率性、バイオ医薬品業界及び健康科学業界の経済学などに関連する各分野を扱う研究・コンサルティング機関である医療経済研究所 (OHE) 名誉理事。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス客員教授、ヨーク大学客員教授、オックスフォード大学ナフィールド・カレッジ公衆衛生学部上級研究員を兼任。また、教育・研究で知られる病院として英国最高峰の一つに数えられるオックスフォード大学病院 NHS トラストの非業務執行取締役も過去 10 年間にわたり務めており、過去に臨床の質を確保するための取り組みを管轄するガバナンス委員会を議長を担当。

【真野 俊樹 中央大学院戦略経営研究科教授/多摩大学大学院特任教授】

1987 年名古屋大学医学部卒業。臨床医を経て、1995 年コーネル大学医学部研究員、同時に、英国レスター大学大学院にて MBA を取得。その後、外資系・内資系製薬企業のマネジメントに携わる。昭和大学医学部公衆衛生学 (病院管理学担当) 専任講師を経て、2005 年 6 月多摩大学医療リスクマネジメント研究所教授に就任。その他、2004 年京都大学にて博士 (経済学) を取得。厚生労働省、経済産業省、総務省などの検討会評価会委員、日本医師会病院委員会委員長などを歴任し、現在は厚生労働省独立行政法人評価に関する有識者会議 WG 構成員 (座長)、東京都立病院経営委員会委員などを務める。2017 年 2 月に「日本の医療、くらべてみたら 10 勝 5 敗 3 分けで世界一」を講談社、8 月に「医療危機 - 高齢社会とイノベーション」を中央公論新社より出版。

【真島 喜幸 一般社団法人日本希少がん患者会ネットワーク理事長】

2006年春に妹（当時49歳）を膵臓がんで亡くしたことを契機に、膵臓がんの患者支援団体「パンキャンジャパン」を立ち上げた。現在、米国のPanCANと連携して膵臓がん患者と家族の支援活動を積極的に行っている。一方、2017年8月には、希少がん患者団体11団体で構成する「日本希少がん患者会ネットワーク」立ち上げに関り、2018年2月同ネットワークの一般社団法人化に伴い、初代理事長に就任。「希少がんで亡くなる人がいない世界をつくる」ことを目標に掲げ、専門医教育を含む専門施設（Center Of Excellence）の整備や、治療法開発、新薬の登場などを含む、希少がん医療体制の改善に取り組み、希少がん患者と家族が尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築を目指している。